



報道関係者各位

2021年11月18日

発信 NO. 000013

## 空飛ぶ学び舎

# 日本初！空港ターミナル施設を活用した航空教育プログラム at 下地島空港(宮古島)

## 実施のお知らせ

### ～実際の空港施設を活用した航空教育プログラム～

航空機チャーター専門旅行会社である株式会社JMRS(東京都新宿区 代表取締役 中鉢 真輔 以下JMRS)は下地島エアポートマネジメント株式会社のご協力の下、沖縄県宮古島市にあるみやこ下地島空港ターミナルに於いて航空教育プログラムを実施しました。東京から航空業界志望の学生に参加いただき、実際に運用されている空港施設を活用して、アナウンス業務や案内業務を体験して頂きました。

下地島空港は元々航空会社のパイロット訓練を主とする空港として1979年に開港しましたが、訓練シミュレーターの高度化などの背景により2013年度を最後に訓練が激減しました。その後、沖縄県が下地島空港利活用の民間事業者を公募、三菱地所株式会社とその事業者として採択され、2019年3月より宮古の第2空港としてみやこ下地島空港ターミナルの運営を開始、2021年11月時点で国内4路線(羽田・成田・神戸・那覇)、国際1路線(香港)が運航されております。航空業界志望の学生に対して、実際の空港を学び舎として活用していただくという今回の教育プログラムへの協力は、新たな取組みのひとつとなります。

昨年より空飛ぶ学び舎シリーズはコロナ禍で修学旅行・校外学習が中止となってしまった代替プランとして周遊チャーター機を活用した航空教育プログラムとしてスタートさせましたが、その後学校等の要望等ご意見を取り入れ、最近では通過点である空港も教育の場として活用させて頂き、「空港及び周遊チャーター機を活用したキャリア教育プログラム」も実施させて頂きました。今回のプログラムは空飛ぶ学び舎シリーズを全国の空港で展開していく試みの中で企画されたプログラムです。

空飛ぶ学び舎シリーズはコロナ禍での休校・短縮授業に伴うリモートや動画で学ぶ機会が多くなる中、敢えて本物の体験機会を設けることで、コロナ禍でも本物の経験が出来るプログラムを目指しております。**普段は通過点である空港及び移動手段である航空機をコロナ禍においては学ぶ場として活用することで新たな価値を提供します。** 今後は対象をさらに拡大し、参加者に応じた内容へとアレンジを加え実施していく予定です。

今後も空港及び周遊チャーター機活用を通じて教育現場への新たな価値提供が出来るよう挑戦して行きます。

## プログラム協力企業

下地島エアポートマネジメント株式会社(空港管理): 空港施設の提供及び講話  
スカイパートナーズ(石垣空港での独立系グランドハンドリング会社): アナウンス体験レクチャー  
ジェットスター・ジャパン: 下地島空港への移動支援及び記念品提供  
株式会社FSO(パイロット育成事業): パイロット訓練施設内への視察提供

### 株式会社JMRS (<https://www.jmrs.jp>)について

2015年、航空機チャーターに専門特化した旅行会社として設立し、大型旅客機を中心とした国内外発着のチャーター機手配に取り組んで参りました。「チャーター機活用による新たな移動ソリューションの提供」をモットーに今後も様々な取り組みに挑戦して参ります。熊本地震・屋久島災害等様々な災害派遣やスポーツ選手団で航空機チャーター手配にて貢献しております。今後は航空機チャーター手配の他にも教育分野に貢献出来るよう空港を活用した教育プログラムを企画することにより価値提供をして行きます。

※本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会・文部科学記者会に配布しております。

<お問合せ先>

株式会社JMRS 総務担当:藤野 事業担当:須賀 電話:03-6265-0256 E-mail: [info@jmrs.jp](mailto:info@jmrs.jp)

※夜間のご連絡は080-7043-2912(須賀) / 080-3939-2120(中鉢)までご連絡をお願い致します。



報道関係者各位

2021年11月18日  
発信 NO. 000013

## 空飛ぶ学び舎

### 日本初！空港ターミナル施設を活用した航空教育プログラム

at 下地島空港(宮古島)

### 実施のお知らせ

～実際の空港施設を活用した航空教育プログラム～



※JMRSホームページ(<https://www.jmrs.jp>)にも掲載しております。